

2018年11月7日
802.11ah 推進協議会

「802.11ah 推進協議会」の発足について

この度、IoTの通信システムとして活用が期待されるIEEE標準規格802.11ah (Wi-Fi HaLow™)の日本国内での利用実現に向け、関係する企業・団体56社（2018年11月7日発足時）が参加し、自主的に取り組む団体として「802.11ah 推進協議会」が正式に発足したのでここにご連絡いたします。

IEEE標準規格802.11ah (Wi-Fi HaLow™)は、920MHz帯の周波数を利用する通信手段のひとつで、特にIoTの通信システムとして様々な分野で活用が期待される新しい種類のWi-Fi規格です。

920MHz帯を利用した通信システム(LPWA※1)は国内でも既に活用されていますが、802.11ahは、「Wi-Fiの伝送距離が拡大」「端末・アクセスポイント・クラウドまでエンドエンドでユーザが自由にネットワーク構築可能」「フルオープン・IPベースのWi-Fiファミリー」「数Mbpsのスループットの可能性を有する」という特徴を持つことから、より多様なユースケースへの適用を実現し、IoTを活用した社会的課題の解決手段の選択肢の拡大や利便性向上に寄与します。

「802.11ah 推進協議会」は、現段階では国内で利用できない同規格の利用実現に向け、実験局免許を取得しだい速やかに国内初となる実証実験（トライアル）を予定するなど、技術検討、実証実験、情報収集、関係機関への働きかけ及び普及促進活動等を推進していきます。

<注> 日本国内での802.11ahの利用条件等については、現時点では確定していません

※1：Low Power Wide Areaの略語で、消費電力を抑えて長距離の通信を実現する通信方式

1. 活動内容

802.11ahの日本国内利用実現に向け以下の活動を行います。

- (1) 技術検討、実証実験（トライアル）
- (2) 情報収集、分析
- (3) 関係機関との情報共有、普及促進活動

2. 連絡会発足日

2018年11月7日

3. 会長 及び 副会長

会 長： 小林 忠男（無線 LAN ビジネス推進連絡会）

副会長： 長谷川 敏（横河電機株式会社）

4. 協議会を構成する会員企業・団体

会員企業・団体数　：　　56 社（11 月 7 日現在）

【別紙 1】に会員一覧を示します。

5. その他

・当協議会は、既に国内で入手可能な 802.11ah 対応無線チップのベンダーである「米 Newracom 社（カリフォルニア州レイクフォレスト、CEO：Dr. Sok Kyu Lee）」と覚書を締結し、トライアルを実施する予定です。

・会員各社およびチップベンダーよりコメントを頂いています。

【別紙 2】に各社からのコメントを示します。

6. 連絡会ホームページ

<https://www.wlan-business.org/11ah-kyougikai/>

以 上

本件に関するお問い合わせ先

802.11ah 推進協議会

担当 松波

TEL：03-5809-2026

□ 「802.11ah推進協議会」会員一覧 (2018.11.7発足時) ※カテゴリ別 50音順

■ 正会員

No.	法人・団体名
<通信キャリア>	
1	NTTアクセスサービスシステム研究所
2	株式会社NTTドコモ
3	NTTプロードバンドプラットフォーム株式会社
4	KDDI株式会社
5	ソフトバンク株式会社
6	東日本電信電話株式会社
7	西日本電信電話株式会社
8	株式会社ワイヤ・アンド・ワイヤレス
9	株式会社ワイヤレスゲート
<機器メーカー・Sier等>	
10	株式会社アイ・オー・データ機器
11	株式会社アイランドシックス
12	Askey Japan Co., Ltd.
13	アズビル株式会社
14	Upside合同会社
15	株式会社アプレット
16	株式会社網屋
17	伊藤忠テクノソリューションズ株式会社
18	SCSK株式会社
19	NECネットエスアイ株式会社
20	NTTアドバンステクノロジー株式会社
21	株式会社LTE-X
22	株式会社協和エクシオ
23	サイレックス・テクノロジー株式会社
24	シスコシステムズ合同会社
25	中央電子株式会社
26	ディーリンクジャパン株式会社
27	株式会社東陽テクニカ
28	日本コムシス株式会社
29	日本電業工作株式会社
30	日本ヒューレット・パッカード株式会社

■ 正会員

No.	法人・団体名
<機器メーカー・Sier等>	
31	パラレルネットワークス合同会社
32	株式会社バッファロー
33	パナソニック株式会社
34	株式会社ビート・クラフト
35	株式会社ビーマップ
36	レンジャーシステムズ株式会社
37	株式会社ブイ・アール・テクノセンター
38	富士通株式会社
39	富士通九州ネットワークテクノロジーズ株式会社
40	株式会社富士通研究所
41	株式会社フルノシステムズ
42	株式会社ポイドルーターシステムズ
43	マイクロサミット株式会社
44	株式会社ミライト
45	明成通信株式会社
46	株式会社モバイルテクノ
47	横河電機株式会社
<学術団体>	
48	国立大学法人東京海洋大学
49	神奈川工科大学
50	兵庫県立大学大学院
<その他>	
51	株式会社ディアステージ
52	一般社団法人長野経済研究所
53	株式会社リックテレコム

■ 特別会員

No.	法人・団体名
54	一般社団法人全国自治会活動支援ネット
55	無線LANビジネス推進連絡会
56	モバイルコンピューティング推進コンソーシアム

各社からのコメント

802. 11ah 推進協議会の発足に際し、会員各社およびチップベンダーよりコメントを頂いております。(順不同)

<東日本電信電話株式会社 理事 ビジネス開発本部 第三部門長 加藤 成晴 様>

当社は、オフィスや店舗、農家や工場で役立つ機能に加え、プロによるサポートが付いた安心・カンタン・すぐに使える「ギガらく Wi-Fi」を提供しており、既に 17 万アクセスポイントのご契約をいただいております。802. 11ah は、誰もが自由に使える Wi-Fi の世界で、より多様な価値やユースケースが創造できるため、社会、地域や企業の課題解決や成長に向けて大きな役割を果たすと期待しております。

<富士通株式会社 ネットワークサービス事業本部 本部長 須賀 高明 様>

ハイブリッド IT、マルチクラウド環境が加速する中で、さまざまな業務アプリケーションとビジネス現場をつなぐネットワークの重要性が増加しています。その中で 802. 11ah は IP ベースで通信を可能とする IoT 向けの標準規格であり、その柔軟なプロトコルから今後、利用形態が広がり当社製品、ネットワークソリューションにおいても重要な位置づけになると期待しております。

<日本ヒューレット・パッカー株式会社 執行役員 Aruba 事業統括本部長 田中 泰光 様>

市場で最も受け入れられている Wi-Fi をベースとした 802. 11ah を日本国内で活用することにより IoT の加速が進むと期待しております。当社としましても Wi-Fi 機器・ソリューションを提供するメーカーとして協議会参加企業様と協力し日本の IoT 市場を盛り上げ、より良い社会基盤の構築へ貢献できればと考えております。

<横河電機株式会社 CSO (Chief Standards Officer)

マーケティング本部 渉外・標準化戦略センター センター長 小田 信二 様>

当社は、産業オートメーション分野で製造現場の見える化を支える基盤技術として工業用無線ネットワークの技術開発とそのソリューションを国内外のお客様に提供しています。802. 11ah は、従来の無線技術に比べ、長距離、高速伝送と Wi-Fi のオープン性を兼ね備えた特長があり、産業用 IoT の新たな無線技術の選択肢として、その技術開発当初から中心メンバーとして貢献してきました。同技術が国内製造業のさらなる展開に寄与することを期待し、本協議会の活動には今後も協力していきます。

<米国 南カリフォルニア NEWRACOM、CEO Dr. Sok Kyu Lee 様)

HaLow™として知られている IEEE802.11ah は、従来の Wi-Fi 規格に準拠しつつ、競合する他の技術より多くの IoT 及び M2M アプリケーションへの適応が可能です。日本の IoT および M2M 関連の企業および機関が、有望なビジネスへの応用を明らかにしその実現を進めるとともに、世界中の 802.11ah 使用事例を商用化する最初の推進者になる準備が整ったと、私は確信します。NEWRACOM は、世界初の競争力のある 802.11ah SOC と入念な技術サポートを 802.11ah 推進協議会に提供することで、この分野の最先端に立つ機会をいただいた事を光栄に存じます。